

# しじゅうから



## いきもの

### もり森よほう



4月になり暖かい日差しが差し始めるとチョウたちが活発に活動し始めます。小鳥の森では約70種類のチョウの記録がありますが、そのうち4月中に見られるチョウは20種類ほど。チョウは種類によって、冬を越す姿が異なり、卵・幼虫・さなぎ・成虫など様々です。4月に見られるチョウでは、卵越冬の種類はいませんが、それ以外の形態（幼虫、さなぎ、成

虫）では越冬しています。例えば、ルリシジミ、ミヤマセセリは幼虫越冬、ツマキチョウ、コツバメはさなぎ越冬、ルリタテハやアカタテハなどのタテハチョウの仲間には成虫越冬です。成虫越冬する種類は、3月中でも暖かい日があると飛んでいることもあります。

4月上旬まではカタクリの花に吸蜜しにくる個体も見られます。カタクリといえば「スプリング・エフェメラル（春のはかない命）」と言われ、春の短い期間にしか見ることができません。実はチョウの中にもスプリング・エフェメラルの種類は見られ、小鳥の森ではミヤマセセリ、コツバメ、ツマキチョウの3種類が生息しています。この

うち、地味ではありますが、ミヤマセセリとコツバメはよく見られます。ミヤマセセリはコナラ林の林内、コツバメは林内のカタクリ群生地などでも見られますが、主に竹林前広場や道沿いなど開けた草地で見かけることが多いです。一方、ツマキチョウは小鳥の森では少なく、見られる頻度は低め。コツバメと同じように開けた場所で見ることができます。

春になって羽化する種類はもちろん擦れや欠けもなく、美しい姿をしています。成虫越冬する種類はボロボロの姿で見ることがあります。チョウの種類はわからなくても、擦れ具合で、成虫越冬かそうでないかはわかるかもしれませんね。

春になるとついつい花に目がいってしまう季節ですが、花とあわせてチョウにも目を向けてみてはいかがでしょうかでしょう。



ミヤマセセリ



コツバメ



ツマキチョウ



越冬明けのムラサキシジミ  
(2019年4月16日撮影)

## イベントあるよ

### ●第1回お山の大将あつまれ!

小学生を対象に、1年を通して色々な自然体験やクラフトなどを行います。年間登録制で年10回程度の活動を予定しています。

第1回目は「始まりの会」と「竹林整備」を行います。

日にち：4月29日(水・祝)

時間：9時30分～11時30分

場所：小鳥の森ネイチャーセンター

対象：小学生とその兄妹

定員：今期は10名程度募集します

参加費：年会費制2,000円

※電話にてお申し込みください。

※4月1日から受付開始

〒965-0201 福島市小鳥の森 小鳥の森ネイチャーセンター 電話 0246-22-1111

# たからもの 森の宝物探し

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができたならオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

## 今月の生き物はコレ

### イモリ科 アカハライモリ



アカハライモリ。イモリと呼ばれることが多いかな？カエルと同じ両生類です。体の表面は乾燥しないようにしっとり。顔の横に飛び出した大きな目。優しく笑ってるみたいな口。丸っこい指がついた短い足と長い尻尾を使ってスイスイ泳ぎます。でも地面に上がるとよちよち歩き。こんなに愛くるしいイモリですが、実は危険な一面もあるんですよ。上から見ると黒っぽい背中ですが、お腹はギョツとするような、赤やオレンジ色をしています。毒々しいのは見た目だけではありません。本当に「テトロドトキシン」という毒を体の表面に出すことができます。これは猛毒で知られているフグ毒と同じ。敵におそわれた時に派手なお腹の色を見せ「食べたら危ないぞ！」と威嚇（いかく）するのです。まさに毒のある魅力を持つイモリ。実は春だけの特別な色もあります。それはオスがメスに結婚を申し込む時の尻尾の色。光が当たると金属のように光る深い青紫に変わります。恋の勝負色になったオスはメスの近くで情熱的に尻尾をくねらせます。ドラマチックな小鳥の森の春の色。探してみてくださいね。

### しじゅっぴークイズ

日本最古のソメイヨシノは郡山市の開成山公園にあります。さて、樹齢何年でしょう？

- ①150年      ②550年      ③1500年

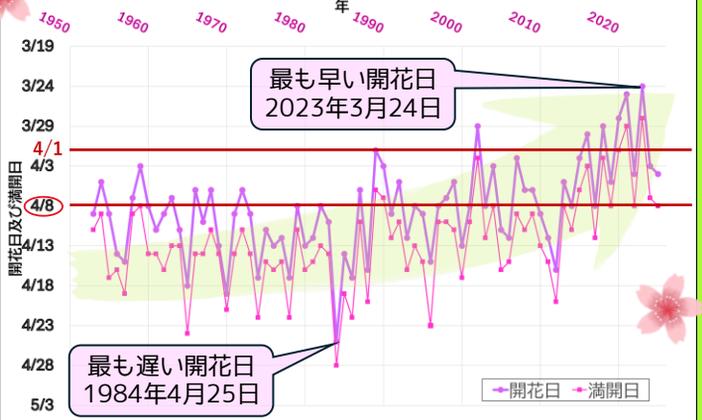
# しじゅっぴーのつぶやき

## サクラサク



「4月といえばサクラの季節ですね〜。」なんていうお話は昔のことでしょうか？私が子供の頃は、入学式にサクラが咲き始めるイメージでしたが、最近はその頃には散り際なんてこともありますね。果たしてその事実は間違っていないのか、気象庁の開花データから、ソメイヨシノの開花日と満開日をグラフにしてみました。

福島市のソメイヨシノ開花日及び満開日(気象庁調べ)



どうでしょう？確かに早まっていますね！開花日が初めて3月になったのは2002年で、それ以前はどんなに早くても4月の壁は越えられませんでした。入学式がだいたい4月8日前後とすると、5,60年前は開花日頃、近年は満開日頃が入学式だと分かります。

因みに、福島市の標本木は信夫山公園の護国神社前の緑地に植えられていて、開花状況を福島地方气象台が毎年観測しています。



ところで、表題の「サクラサク」とは、何の言葉か知っていますか？昔、まだ電話が一般的ではない時代に、大学の合格発表の結果を遠方の家族に、電報という電話会社のサービスで伝えていました。文字数で料金が変わるため、より短い言葉で素早く伝えるために考えられた言葉です(不合格は「サクラチル」)。

小鳥の森にもソメイヨシノは植栽としてありますが、山に自生しているサクラといえば、カスミザクラです。山を見た時に霞がかって見えることから、そう呼ばれています。4月下旬頃見頃を迎えるサクラですので、小鳥の森は、長い期間サクラを楽しむことができます。

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター)

《入場無料》休館日：毎週月曜日

(祝祭日の時はその翌日)

開館時間：午前8時30分～午後5時

最新情報はこちら



Instagram



旧Twitter



ホームページ

